

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 30 日 作成  
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 26 日 作成

事務事業名		住宅新築資金等貸付金償還事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連	
総合計 画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	教育委員会事務局	課長名	財津幸泰
	施策	24	行財政改革の推進		所属課	人権啓発教育課	担当者名	塩地由梨
	基本事業	88	自主財源の確保		所属班	啓発教育班	(内線)	2427
予算科目					会計	1	款	12
					項	1	目	1
					事業連番	11122・11123		<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始
					成果優先度評価結果			⑩
					コスト削減優先度評価結果			⑥
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度			年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)								
【事業の内容】 昭和44年に制定された、同和対策事業特別措置法に始まる事業で、当時の対象地区に居住する住民を対象に、環境整備の一環として、住宅新築等に係る資金について貸付事業を行っていたが、その貸付を町が郵政省より借り入れをしており、その元金及び利子の償還を行う事業である。								
【業務の流れ】 郵政公社への償還計画に基づき、本年度分の元金、利子の償還を行う。								
【主な予算費目】公債費(元金償還金、利子償還金)								

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 公債費(元金、利子)の郵政公社への償還事務。9月と3月に償還。	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 公債費(元金、利子)の郵政公社への償還事務。9月と3月に償還。
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 市公債費	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 償還額(元金) 円 イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 郵政公社への適正な償還を行う。	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 郵政公社からの償還未済分借入額(元金) 円 イ 郵政公社からの償還未済分借入件数(元金) 件
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 郵政公社への償還を完了する。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 予算執行率 % イ
	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 郵政公社への支払い残高(元金) 円 イ

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト  (期間 限定 複数 年度 の み 記 載)  目 標 合 計 数 計 画  22 年 度	
		都道府県支出金	千円	870	728	646	646	486	436		168
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円	10,521	8,230	7,767	4,318	8,346	1,064		1,732
		一般財源	千円	6,277	5,012	5,985	9,434	6,715	6,000		5,500
	(A) 事業費計	千円	17,668	13,970	14,398	14,398	15,547	7,500	7,400		
	うち指定経費	千円									
	うち時間外、特殊勤務手当	千円									
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	4	3	3		3
	延べ業務時間	時間	360	80	80	55	100	100	100		
	(B)人件費計	千円	1,429	318	318	219	398	398	398		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	19,097	14,288	14,716	14,617	15,945	7,898	7,798		
	活動指標	円	35,058,071	13,969,920	13,107,612	11,585,708	13,262,705	5,488,367	5,751,339		
	対象指標	円	241,900,000	177,500,000	156,600,000	142,000,000	105,400,000	102,200,000	76,800,000		
	成果指標	%	100	100	100	100	100	100	100		
	上位成果指標	円	71,116,577	60,622,618	50,416,023	49,036,910	35,774,205	30,285,838	24,534,499		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

- ① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?  
昭和42年より、対象地域の住環境整備を目的として、旧合志町においては昭和42年、旧西合志町においては昭和44年に最初の貸付が始まったが、その資金を郵政公社より町が借り入れをし、対象者に貸付を行った。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?  
昭和44年に同和対策事業特別措置法が制定され、その法が平成14年には失効し、国による住環境整備事業への補助事業はなくなり、事業は特別対策から一般対策へ移行した。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?  
特になし。

事務事業名	住宅新築資金等貸付金償還事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	人権啓発教育課
-------	----------------	-----	----------	-----	---------

2 評価の部(SEE) \*原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 償還を修了し、債務を終えることが、自主財源の確保になり、政策体系に結びついている。	⇒3評価結果の総括(SEE)に反映
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 市の公債費であるため、市が行わなければならない。	⇒3評価結果の総括(SEE)に反映
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 市の公債費であり適切である。	⇒3評価結果の総括(SEE)に反映
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 市の公債費であり適切である。	⇒3評価結果の総括(SEE)に反映
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 市の債務であり、廃止・休止できない。	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN)
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はないため統廃合はできない。	⇒3評価結果の総括(SEE)に反映
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 公債費の償還なので、削減余地はない。	⇒3評価結果の総括(SEE)に反映
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 適正に人員配置で行っており、削減余地はない。	⇒3評価結果の総括(SEE)に反映
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 市の公債費であり適切である。	⇒3評価結果の総括(SEE)に反映

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、適切である。 ②有効性については、適切である。 ③効率性については、適切である。 ④公平性については、適切である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 償還が修了するまでは、現在のやり方で償還業務を行っていく。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持 低下			
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上		○															
	維持 低下																	

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	3	( 直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9 )
(2) 貢献度	5	( 貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12 )